

NEWS RELEASE

2022年6月28日
日本板硝子株式会社

国内ガラス製造業として初めて、温室効果ガス削減目標が SBT イニシアティブの認定を取得

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：森 重樹、以下「NSG」）が先般引き上げた 2030 年までの温室効果ガス（GHG）の排出削減目標が、日本のガラス製造業として初めて「科学的根拠に基づいた目標」として SBT イニシアティブ（Science Based Targets initiative、以下「SBTi」）に認定されましたのでお知らせします。



SBTi は、CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）および WWF（世界自然保護基金）による共同イニシアティブで、気候変動リスクの低減に向けて企業に対し、科学的知見と整合した温室効果ガス削減目標の設定を推進しています。現在、世界で 1,400 社超、日本企業では 208 社の目標が認定されています（当社確認時点）。

当社グループでは既に 2019 年 10 月に、2030 年までに温室効果ガスの排出量（スコープ 1 およびスコープ 2）を 2018 年対比 21%削減する目標が SBTi に認定されていますが、本年 5 月 12 日公表（[「2030 年までの CO2 削減目標を引き上げ、2050 年のカーボンニュートラル達成を宣言」](#)）の通り、当社グループにおいてスコープ 3（サプライチェーン排出）も含めた 2030 年までの CO₂ 排出削減目標を 30%に引き上げました。今般、SBTi によりこの目標が「産業革命前からの気温上昇を 2℃より十分低く保つ」目標であるとして、正式に認定されたものです。

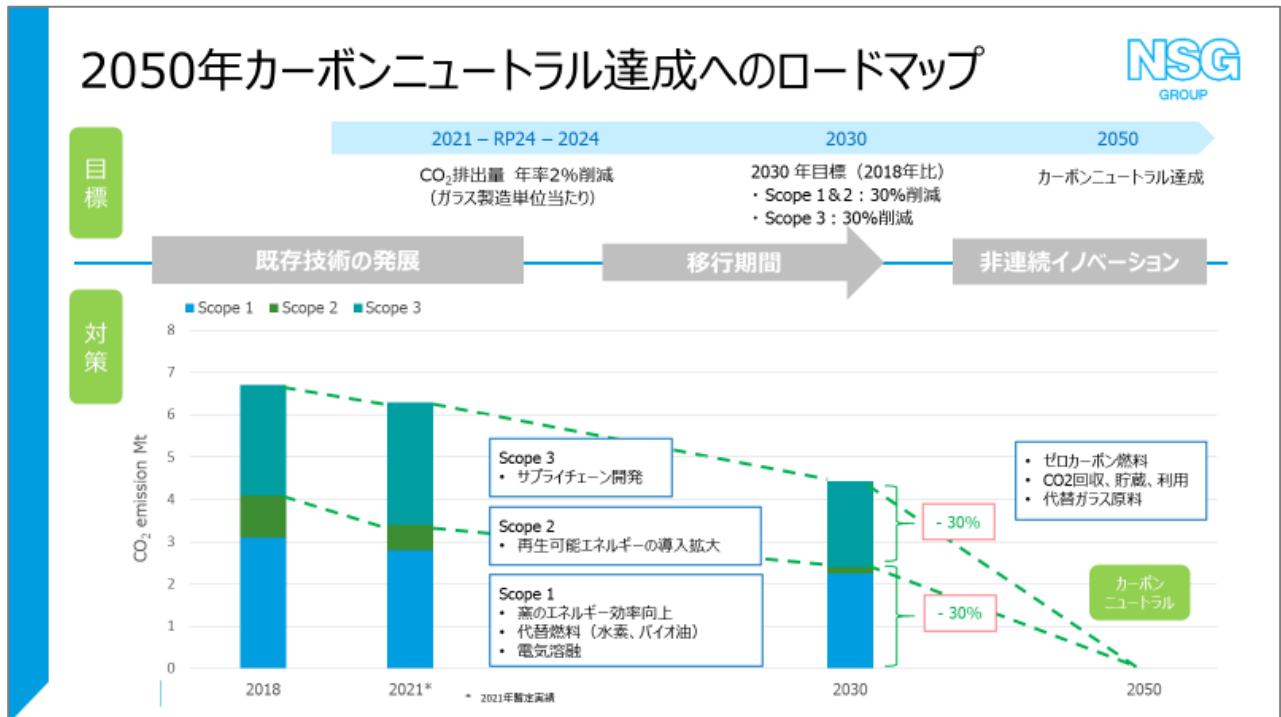
	スコープ 1+2 (直接+間接排出)	スコープ 3 (サプライチェーン排出)	カーボンニュートラル
新目標	30%の削減 目標年：2030年 基準年：2018年 (SBTi 認証を取得)	30%の削減 目標年：2030年 基準年：2018年 (SBTi 認証を取得)	達成をコミット 目標年：2050年

当社グループでの最近の取り組みとしては、英国において板ガラス製造業として世界で初めて水素、バイオ燃料による製造実証実験にそれぞれ成功したほか、世界各地の事業所敷地内への太陽光発電設備やカナダでの蓄電設備の設置、ポーランドでの風力発電会社との VPPA（Virtual Power Purchase Agreement：仮想電力購入契約）などの再生可能エネルギーの導入拡大をはじめ、さまざまな CO₂ 排出削減の施策を進めています。

NSG グループは今後も 2030 年目標および 2050 年のカーボンニュートラル達成に向けた努力を続けてまいります。

以上

ご参考：カーボンニュートラル達成へのロードマップ（2022/5/12 公表資料）



NSG グループ（日本板硝子株式会社およびそのグループ会社）について

NSG グループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズや、タイミングベルトの補強材であるグラスコードやガラスフレックを中心とする特殊ガラス繊維です。<https://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ>

(報道関係等) 広報部 Tel : 03-5443-0100